



さい帯血バンク NOW

2004年9月15日発行
日本さい帯血バンクネットワーク

発行者：鎌田薫(会長)

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字社東館6階

TEL 03-5777-2429 FAX 03-5777-2417

<http://www.j-cord.gr.jp/>

第19号

設立5周年大会が
10月16日に東京で

イベント多彩

1999年8月に産声を上げた日本さい帯血バンクネットワークは、今年発足から満5年を迎えました。この5周年を記念して、10月16日に東京ビッグサイトにおきまして、わが国のさい帯血バンク関係者などが一堂に会する「日本さい帯血バンクネットワーク・設立5周年記念大会」を開催いたします。患者さんやご家族、その他一般の方も参加できますので、どうぞお集まりください。

＝当日のスケジュールは2面に

スタッフ情報交換

当日の午前中(10時30分から)は、全国11のさい帯血バンクのさい帯血採取医療機関(94病院)となっているすべての施設の採取担当者をお招きして、会議を開催します。全国のさい帯血採取病院のスタッフが同じテーブルについて意見を交換する試みは、わが国では初めてのことです。採取病院は、さい帯血バンクの中でも事業の根幹を担う大きな要素を占めています。「妊婦さんに対する提供のインフォームドコンセント」「より多い細胞を確保するための採取手技」「産院内におけるさい帯血

バンクの普及啓発」といった課題について、全国の経験や取り組みの成果などが話し合われます。

キャラの愛称発表

午後からは、設立5周年記念大会として、式典が予定されていますが、式典ではやなせたかし氏デザインによるさい帯血バンクのシンボルキャラクターの愛称が決定し、その発表と表彰式もあります。現在、シンボルキャラクターの愛称が募集されています(締め切りは9月20日)が、市民の皆さんからたくさんのご応募をいただいています。当日、名付け親となった方には、作者のやなせ先

生から直接ご本人に、直筆の原画が贈呈されることになっています。

成績の本格的解析

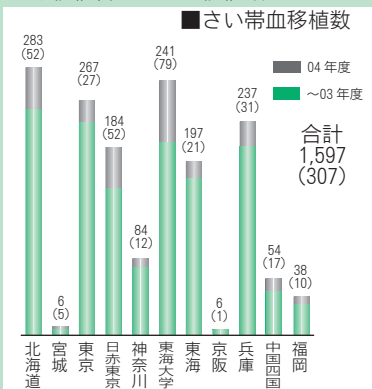
現在、日本さい帯血バンクネットワークでは、移植医療機関の協力を得ながら、全国の各さい帯血バンクが管理している移植データの整理と解析を進めています。何とか、設立5周年記念大会に間に合わせるべく、その作業を急いでいます。これまでに行われたさい帯血移植症例の蓄積と、一定期間経過した移植成績について、日本さい帯血バンクネットワークとして初めての発表となります。

高齢経験者が参集

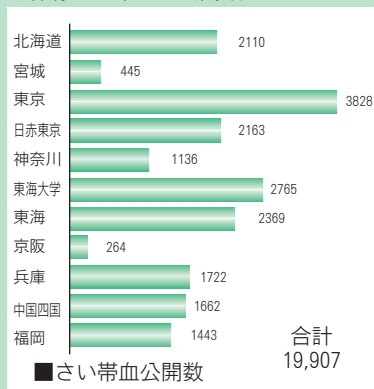
また、記念大会のシンポジウムとしましては、最近急増している高齢者へのさい帯血移植の成果をご報告することになっています。当日は、60歳以上でさい帯血移植を経験して社会復帰された方を数人会場にお招きしていろいろとお話をうかがいます。

現在、さい帯血移植を行う患者さんの4割以上は年齢が50歳以上となっています。ほとんどの方は、いわゆるミニ移植といわれる移植法によるものですが、その体験談と、医学的な見解についてもご報告します。

●移植各バンクの移植数



●保存さい帯血の公開数



(注) ①グラフデータは、2004年8月末現在

②左のグラフの数字はカッコ外が～03年度、カッコ内が04年度移植数

③左のグラフは使用数であり、複数さい帯血同時移植(2本のさい帯血に同時に移植)が11例行なわれているため、累積実施移植数は1893例。複数さい帯血同時移植は、02年度3月、03年度4月、5月、7月、10月、2月、04年度4月、5月に実施。



小児急性白血病で骨髄移植と比較 2001年以降は成績向上

造血幹細胞移植による治療が必要な際、血縁者にHLA適合ドナーが得られない場合の主な選択肢として非血縁者間骨髄移植（以下骨髄移植）と非血縁者間さい帯血移植（以下さい帯血移植）がありますが、本年6月までに前者は約20万人のドナーから5686件の移植がなされ、後者では約2万件のドナーから1780件の移植がなされました。今回は小児の急性白血病に限り、両者のこれまでの移植成績を比較検討しました。

2 座不一致も20%

1. 対象患者さんの概要

2002年までに小児急性白血病に対する初回移植として骨髄移植が468例、さい帯血移植が241例実施されました。患者さんの年齢中央値は骨髄移植のほうが上（9歳対7歳）で、体重の中央値も前者のほうが重い傾向（31kg対16kg）にありました。

またHLAの一致度は骨髄移植では6/6の完全一致が454人（97%）なのに対して、さい帯血移植では6/6は33人（13.7%）のみで5/6一致が150人、4/6一致が49人でした。

低発症のGVHD

2. 移植後結果

移植後の血液学的回復ですが、好中球数 $500/\text{mm}^3$ 以上の回復日数は骨髄移植19日に対し、さい帯血移植では24日と後者で遅く、この傾向は血小板数の回復でも同じでした。

II度以上の急性GVHDの発症率は

2001年以降は成績の向上がみられ骨髄移植49.6%に対してさい帯血移植では41.6%とHLA不適合移植が多いにもかかわらず低い結果でした。

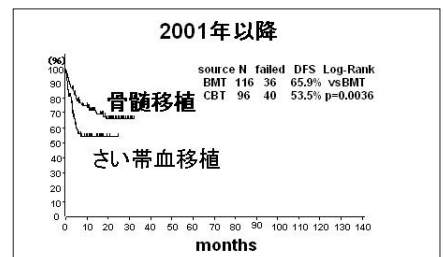
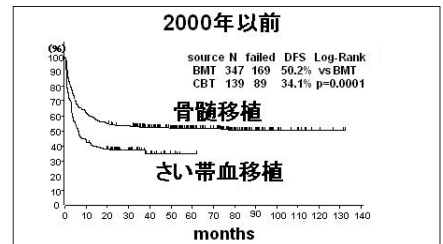
移植後の再発率は骨髄移植で24.4%に対してさい帯血移植では44.6%と後者が高く、これは移植時の病期にかかわらず同じ傾向でしたが、移植関連合併症死亡比率は骨髄移植で29.9%、臍帯血移植で23.5%とほぼ同等の結果でした。

無病生存率は38%

また無病生存率は骨髄移植52.9%に対してさい帯血移植38.0%と前者で有意に高い結果が得られましたが、両者とも2001年以降は改善傾向がみられました（骨髄移植は50.2%から65.9%へ、さい帯血移植は34.1%から53.5%へそれぞれ改善）。

以上の結果より、さい帯血移植は骨髄移植と比較して血液学的回復は遅く、GVHDの発症は少なく、再発率が高く、また無病生存率は低い

が2001年移行は成績の向上がみられ



■無病生存率の推移

ており、HLA適合ドナーが得られないか移植が急がれる場合には有用な移植手段と考えられました。



【謝辞】このデータの解析にあたり、日本さい帯血バンクネットワークに参画するさい帯血バンク及び日本小児血液学会の造血細胞移植委員会の諸氏に深謝します。

白血病発症例で答申

外部専門家らに対策検討

さい帯血移植後、ドナー由来の細胞による白血病発症例につきまして、本誌第17号でお伝えしましたように、日本さい帯血バンクネットワークでは会長の諮問機関として、外部の専門家などを委員とする検討会を設置して、対応策を検討してまいりましたが、このほど答申がありました。答申内容を抜粋して報告します。

■共同で医学的な解明へ

・造血幹細胞移植後にドナー由来細胞が白血病化することは以前より報

告され、さい帯血移植後もありえるが、発症の原因などについて関連学会などと共同で医学的な解明を行う。

■提供前にドナー意思確認

・ドナーの「知る権利」と「知らないでいる権利」を保障する観点から、ドナーの意思をさい帯血提供前に確認しなければならない。

■今回はドナーに伝えず

・ドナー由来細胞の白血病発症例をドナーに伝えても、ドナー発症の早期診断や予防はできないので、伝え

ることで生じる不安や混乱が大きいと予想され、今回はドナーに対して個別の情報提供は行わない。

設立5周年記念大会

10月16日（土）東京ビッグサイト・会議棟6階＝江東区有明3-21-1

（電話03-5530-1111）

第1部 10：30～ 全国採取病院
意見情報交換会

第2部 14：00～ 記念式典

第3部 14：30～ 報告会2004&
記念シンポジウム

（記念レセプション 17：30～

会費2000円）



北海道バンクへ 患者さんの手紙

「未来」に希望抱く 赤ちゃんと共に生きる喜び

北海道バンクからのさい帯血移植を受けた患者さんからの手紙を紹介します（原文のまま。見出しは編集部で付けました）。



突然お手紙差し上げますことご容赦下さい。

移植3カ月で退院

私は今年2月24日に貴バンクが保存されるさい帯血で〇〇〇〇病院にて移植を受けた者で島根県に在住しております〇〇〇〇と申します。移植を受けて3カ月、体調も落ちついて無事退院することができ、一言お礼が申し上げたいと思い、お手紙いたしました。

私の病気は白血病で、去年7月に判明しました。治療当初から移植が必要と言われていたのですが、家族の誰ともHLA型が一致せず、骨髄バンクでも適合する方はいらしたのですが移植までは至らず、それが分かった時には、まだ20代半ばの私の人生はこんな形で終わってしまうのかと、本当に悲しくて、ただ苦しくて仕方ありませんでした。そんな時、担当して下さっている〇〇〇〇病院の〇〇〇先生から「大丈夫。あなたに移植できるさい帯血が見つかったから」と言われ、貴バンクのさい帯血

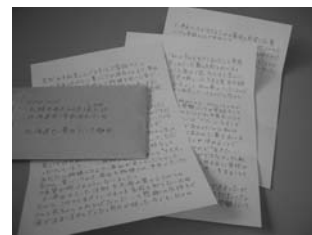
を移植され、未来にたくさんの希望が抱けるようになりました。

感謝で涙止まらず

さい帯血の入った注射を点滴の管から入れられながら、これから生きていけるのも名前も知らないお母さんと赤ちゃんのおかげなんだ…と感謝の気持ちで涙が止まりませんでした。月日が経った今でも、日々の生活の中で、ふと「私は今日も生きてるんだ」と実感します。死ばかりを見つめていた数カ月前と比べると今はまるで奇跡のような毎日です。爪も生え変わりをはじめ、きれいなピンク色の新しい爪を見る度、自分自身が生まれかわったような気がして、私の命は1つだけれど赤ちゃんの命と共に生きて成長していけるのだと思うととてもうれしいです。

善意が勇気づけに

私が入院して治療を始めてから、100人以上もの職場の同僚や友人達が骨髄バンクの登録をしてくれました。皆の善意はそれだけで私を勇気づけてくれました。けれど、友人の中には「ドナーになること自体ドナーにも生命の危険があるのだから、私はドナー登録をしない」とはっきり言われた事もありました。ドナー登



録は確かに個人が決めることで他人が強制できるものではないけれど「生きたい！ 死にたくない！」それしか考えることができなかった私には、とてもショックな出来事でした。母子共に負担のないさい帯血ならばこのような悲しい思いをすることもありません。

生への最後の希望

私は今回運良く移植を受けることができましたが、移植を望んでおられる患者さんはまだまだたくさんいらっしゃいます。私を含め患者にとっては骨髄バンク、さい帯血バンクが生きるための最後の希望です。貴バンクの皆様にはご苦労が多いと思いますが、これからはがんばってください。私も骨髄バンク登録の呼びかけなど同じ苦しみを抱えた人達のためにできることから始めたいと思っています。本当にありがとうございました。

平成16年5月21日

北海道さい帯血バンク御中



すこやかに、幸せに。

明日への夢、描きたい。

NIPRO

人から人へ、心から心へ、医療という名のヒューマンなコミュニケーションを広げたい。真の健康を守り、幸福な社会を築くために、優れた医療機器を広くおとどけしているニプロ。

私たちニプロはさい帯血を採取保存する技術でさい帯血バンクを応援致します。

NIPRO

ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号



治療成績の提供も必要

採取病院
訪問記③

東京都赤十字血液センター—臍帯血バンク

東京都赤十字血液センター臍帯血バンクは現在都内7つの施設と提携しています。設立は日本赤十字社医療センターの協力があったからこそでした。血液センターは病院の隣でもあり、同意書・説明文の作成にも産科スタッフの協力がありました。

意義や効率真剣に

臨月になってさい帯血献血の説明をすると、ほとんどの方がさい帯血バンクを知っていて大変協力的だそうです。つづいて採取施設に加わっていただいた愛育病院でも、さい帯血献血を申し出られる方は、さい帯血バンクの仕組みをよく理解してらっしゃるそうです。

都心にある採取施設としては他に東京厚生年金病院、三楽病院もあります。都心から少し西、JR中央線武蔵境駅に近い緑の多い環境に武蔵野赤十字病院があります。どちらの採取施設でも「プライベートバンクへの対応に苦慮する」「採血量を増やすのが難しい」など、さい帯血バンクの意義や効率を真剣に考えてくださっているのがわかります。

中央線荻窪駅の近くに東京衛生病院があります。毎月30件前後のさい帯血を提供いただく、同バンクで最も調製数の多い採取施設です。外来にはさい帯血バンクのポスターやさい帯血保存率などの資料が張ってあります。

「皆さんとても協力的です」と樋



口泰彦先生は語っています。ちょうど外来にいらしていた方も「さい帯血バンクの情報はよく伝わります」とのことでした（写真は妊婦さんと樋口先生）。

患者質問受け加入

さて、都心から東、江戸川区中葛西には池下レディースチャイルドクリニックがあります。分娩数は年間500前後で正常分娩がほとんどです。この地域は浦安の東京ディズニーランドにも近く、都心近郊のベッドタウンとして若い世代の方が多いそうです。



安産のための運動

池下久弥先生は、多くの患者さんからなぜさい帯血バンクに加入していないのか、と質問を受け、同バンクに連絡をとりました。

「地域の方々はインターネットを盛んに活用されていて、医学的知識も豊富です。当院の患者さんは非常に協力的で積極的にさい帯血の提供をしてくださいます。赤ちゃんを出産したすぐ後に『さい帯血は十分取れましたか?』と心配してくださる患者さんもいます」

「貢献度知りたい」

池下レディースチャイルドクリニックの職員の方はさい帯血の搬送まで担当しています。8月11日にご出産の池田祐子さんは「採取したさい帯血の5割しか保存にならないとわかりました。どこでもさい帯血が提供でき、協力してくれる人が増えるといいです」。



池田祐子さん 松本万有美さん

8月10日にご出産の松本万有美さんからは「さい帯血がどの病気にどのくらい役立つかわかるといいます」と話しています。

さい帯血が保存される割合は半分ほどですが、だからこそ裾野を広げるように、また治療成績までの情報提供の必要性を示していただきました。今後の活動に反映させていくそうです。

ご寄付をいただきました

■ 5周年記念事業協賛金（寄付金）

富士レボロ(株)研究開発部門 10万円
住友製薬(株) 5万円

三菱ウェルファーマ(株) 5万円
今村病院分院細胞治療セミナー 2万円
キリンビール(株) 20万円
齋藤英彦様（愛知県） 5万円
加藤 隆様（東京都） 5万円

峯岸正好様（宮城県） 2万円
土井長保男様（埼玉県） 2万円
加藤一子様（愛知県） 2万円
大北威様（愛知県） 1万円
佐藤紀子様（東京都） 1万円

あとがき 10月16日の設立5周年記念大会開催については、本文でお知らせした通りですが、大会の総合司

会はフジテレビの木幡美子アナウンサーが今回も務めてくれることになりました。木幡アナはさい帯血のド

ナー体験者でもあり、一昨年の3周年大会、昨年の1000例突破記念大会でも司会を引き受けてくれました。